



人類に
奉仕する
ロータリー

成田ロータリークラブ 週報



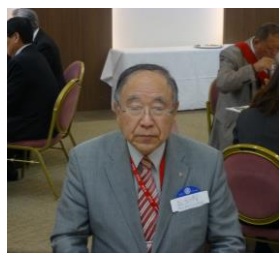
国際ロータリー2016～17年度会長 ジョン F. ジャーム

第2746回例会 平成29年4月21日(金)

- ◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 矢島 紀昭 会員
- ◇ お客様紹介

成田コスモポリタンロータリークラブ

越川 和哉 様、水口 康司 様、大木 裕信 様、萩原 康宏 様



◇ ニコニコボックス



諸岡 靖彦 会員：本日4月21日は、明治32年のこの日を創業記念日としております我が『なごみの米屋』の118周年の日となります。今日から23日(日)までの3日間、創業感謝祭と銘打って、<抹茶スイーツフェア>を開催します。御来店をお待ちしております。折から、成田空港第3滑走路の問題をめぐって、騒音の影響をこうむる住民との話し合いが難しいところに至

っています。空港機能拡充を地元・空港圏の市町の経済効果に結びつける最善のテーマは、この地域の産業と自然景観を生かした農業等の第1次産業の観光客を呼べる基盤づくりです。千葉県経営者協会では5月23日(火)15時から、マロウドホテルでシンポジウムを予定しています。関心を持つ皆様のご参加をお願いいたします。



喜久川 登 会員：一昨日まで花粉症とは無縁の素晴らしい空気のオーストラリアに行っておりました。オーストラリアは成田空港からLCCで行けます。家に帰って皆さん地図を見ていただくと分かるのですが、ブラジルのアンデスで非常にたくさんの酸素が供給され、その酸素は、隣の南極大陸の端っこで冷やされタスマニアに来るので、タスマニアの空気は世界で一番、酸素の濃度が

濃く非常に綺麗で美味しい空気だそうです。またアリススプリングス・スクール・オブ・エアの無線授業風景を見学してきました。アリススプリングス(Alice Springs)は、オー

オーストラリアのノーザンテリトリー（北部準州）にある都市で、百万平方キロメートルもの広大なセントラルオーストラリアのエリアに住む 140 人の子供たちに教育サービスを提供しています。距離的に学校に通うことのできない子供のために無線授業を行い、ヘリコプターで生徒のところへ一年に一度か二度、家庭訪問をするという小学校でした。ちなみに学業成績は良いそうです。最後に、シドニーは 500 万人の街で、世界で一番人種が多い国です。28～35 歳は無条件で移住ができ、65 歳からだれでも年金がもらえます。ちなみに車は一千万円です。今日の食事なんかも 40 ドル位です。そこで生活すれば自動的に税金を納めるということです。食料自給率は 240%、日本は約 40%、ですから輸出については非常に安く世界に出しています。一般的な時給が 2,500 円、高校生のアルバイトで 18 ドル、普通の家を購入するとしたら 1 億円、物価が高くて人件費が高い、でも自炊すれば、米 10 キロ 1,000 円ですからそんなに馬鹿高いというわけでもありません。一手間かけるととても高い値段になってしまうということです。将来の日本もこうなるのではないかと思いつつ帰って参りました。



橘 昌孝 会員：私の顔を初めて見る方もいらっしゃるかとは思いますが、昨年二回入院しました。一回目は 7 月 21 日、銀行まで行こうとして途中で躓いてひっくり返り、中心性脊髄症と診断されました。とにかく手がしびれてちょっとでも物に触れると痛くてどうしようもない状態でした。その時は、8 月のお盆前で何とか退院しリハビリをしておりましたが、今度は私個人

の不注意で熱湯に足を突っ込んでしまいました。ちょうどそれが 11 月 17 日。それから約 3 ヶ月、最初の 2 週間は自然に治っていくのを待とうと思って様子を見ておりましたが、結局回復しなかったものですから両方の太ももから皮膚を剃りまして、それを、熱傷を起こしたところへ植皮しました。まだその跡が残っております。何とかここに来られるようになりました。10 年位前には、小学校のお子さんたちに話をしてくれと言われてまして、二階までスリッパで上がっておりましたら、途中で滑ってアキレス腱を切ってしまいました。そういう色々な事があり、1 月末で橘医院を閉院しました。小さいお子さん達も治療に来ておりましたが、とにかくそういう状況で、元気に回復してもまた何か治療することが起きてくるのではないかと思いました。3 年半ぐらい前には左腕がある日突然落っこちて全然動かなくなり、たまたま日本医大で電気治療のリハビリをしてここまで上がるようになりました。自分で治療するのは良いとしても、患者さんに迷惑をかけるような事になってはいけません。今は元気にやっております。ボケたらしょうがないんじゃないかと言われてましたが、たまたま私が“成田市笑い健康の会”という会の相談役をしておりました、今までは治療に忙しくその会にほとんど出ていなかったのですが、今年はずっと参加しております。兎に角、みんなが参加して、参加した人たちが幸せにならないといけない、ロータリークラブのここに集った人たちみんなが幸せになるということが大事だと思います。私が好き、あなたを幸せにしたいというのがモットーなのでどんどんこれからも続けていきたいと思っております。ロータリーもできるだけ時間を作ってこれから参加したいと思っておりますので、よろしく願います。今日はこの後母子の健康月間ということで簡単に卓話をさせていただきますのでよろしく願います。クラブからもお見舞いをいただき、いろんな方から気配りをしていただきありがとうございました。感謝申し上げます。

ます。



藤崎 礼子 会員:私は下手なのですがゴルフをやります。先日、大木会員からこのクラブを使ってみなさいとスコッティキャメロンのパターを頂きました。これは鉄ですのでお天気の良い日にしか使いません。今日は53度のアプローチとユーティリティーを使ってみなさいといただきました。大木会員、ありがとうございます。



石橋 菊太郎 会員:昨日の夜、テレビ東京で和風総本家という番組をやっておりましたが、来週再来週は門前町を支える職人たちという特集で放送されるそうです。5月4日は成田だそうです。そこで菊屋を紹介して取り上げていただけるということで1つ目のニコニコです。2つ目のニコニコですが、先日お話ししました千葉三越さんが今年3月いっぱい閉店して、今まで私ども土用の丑の日に鰻を出させていただいておりましたが、今度は銀座の三越で出店させていただけることになりました。銀座、日本橋へおでかけの節は、是非菊屋の鰻をお求めください。



小寺 真澄 会員:成田市平成28年度優良工事の表彰を受けました。成田ロータリークラブの会員でもあります平山建設さんとともに6社ほど表彰されました。吾妻中学校の改修工事と言うことだったので、今までも何度かいただいたことがあります。しかし、それは全て私が絡んでおりました。今回表彰された工事は、すべて社員だけでやった工事で、私はノータッチでした。それだけに表彰していただけるとわかった時は、感無量になりました。



南日 隆男 会員:既に週報に掲載されておりますが、先週の2クラブ合同ゴルフコンペでイーグルを取り表彰され、それに対してニコニコしたのですが、石川会長がずっと褒めて下さり、無理矢理イーグル賞を作っていたので、その分全部ニコニコしろと言うことで、今日も喜んでニコニコさせていただきます。



遠藤 英一 会員:年度始めで突然の会議会合がたまたまロータリーの日程と重なり久しぶりに皆さんにお会いしました。せっかく出席率を上げようとしているのに申し訳ありませんでした。ごめんなさいと言うことでニコニコさせていただきます。

◇ 会長挨拶

石川 憲弘 会長

4月12日は2クラブ合同花見例会でした。その日に行われたゴルフコンペでは、南日会員が、なんと10番ミドルコースでイーグルを取り、成田クラブ会長として自分のことのように嬉しかったです。ショートコースでは偶に聞いたことはありますが、ミドルコース

では聞いたことがありません。まるでプロのようでした。南日会員もさぞかし嬉しかったことでしょう。さて、4月16日は、印西ロータリークラブ50周年記念式典に成田ロータリークラブからも「成田太鼓祭り」の日にも関わらず沢山の会員に出席していただきましてありがとうございました。当日は、私もスポンサークラブの会長として青木ガバナーの後、祝辞を述べさせていただきました。昭和40～41年度当時の成田ロータリークラブ会長諸岡謙一氏が、前年の八街ロータリークラブ設立に続いて、印西の地にも新クラブを創設する計画を立て、滝田岩吉会長以下28名の会員を募り、昭和41年3月11日に創立総会を行い、6月14日国際ロータリーの承認を受けています。2790地区では33番目、日本全国では791番目のクラブだそうです。当時設立に尽力しました成田クラブ山崎一雄会員は、印西の出身で地元で新クラブを設立することに一段の熱意をかけていたのではないかと推察しています。このように成田ロータリークラブは9分区、そして2790地区では、大変重要な立ち位置をしめており先輩方のこれまでの功績に感謝の気持ちを表すところでございます。記念講演では、ケビン・ショート氏（東京情報大学環境情報学科）より「田園都市印西里山の魅力」と題した印西の田舎の自然と人間の共存のあり



方などを講演していただき、興味をひかれ大変に面白かったです。ちなみに印西市の見所は、のんびりと風を感じながら行く小さな船旅、いんざいぶらり川めぐり、吉高の大桜で、この桜は樹齢300年を超える孤高の山桜です。今月は「母子の健康月間」、卓話は橘会員にお願いしました。御身体の不自由な中、『皆さんにお会いでき卓話ができるのはこの上ない喜びである』と駆けつけてくださいました。後程よろしく願いいたします。

◇ 表彰

・ロータリー財団

第2回マルチプルポールハリスフェロー 小寺真澄会員

・米山記念奨学

第5回マルチプル 角田幸弘会員

第3回マルチプル 長原正夫会員



◇ 委員会報告

・国際奉仕 南日 隆男 リーダー

ジョイセフに使用済み切手を送る活動の報告です。7月から3月の3ヶ月で2,500枚ございました。前回までの7,500枚に加えて、石川年度9ヶ月で10,000枚を達成することができました。引き続き皆様のご協力をお願いします。月初の例会で回収させていただきます。



・米山記念奨学 堀口 路加 リーダー

米山記念奨学委員会のリーダーの堀口です。きょうは報告という



より予告です。

石川会長年度は新会員がたくさんいらっしゃることから神崎委員長と相談して新会員対象の米山記念事業の研修会を実施しようとして企画しましたところ、新会員だけを対象にするのではなく、改めて会員の皆様に米山記念奨学事業について意識を向けていただき、理解を深めていただくと良いのではないかということになり、次週例会において米山記念事業に関する卓話をさせていただくことになりました。豆辞典が昨年10月に配布されていますが、きっと大切にしまいこんでいる方が多いと思います。次週例会には豆辞典を引っ張りだしてご持参いただければと存じます。

もう一点、5月に入りましたら米山記念奨学委員会を開催します。これから日程を調整しますので、委員になられている会員はよろしくお願ひします。以上です。

◇ 幹事報告 吉田 稔 幹事

《回覧》

- ・週報 八街、富里、成田空港南ロータリークラブ
- ・国際ロータリーより手続要覧誤表記のお詫びと訂正
- ・卒後コース開催のご案内

《連絡》

・5月の第一週5日は祭日休会です。12日が月初例会となり理事会を開催いたします。26日は新会員の研修と歓迎会でU-シティホテルでの夜間例会となります。23日はRF主催の当クラブのゴルフコンペです。永井会員の成田ハイツリーでおこないます。6月30日の最終例会もゴルフコンペの準備中と言う事ですので予定をお願いいたします。



◇ 卓話

—母子健康月間—

橘 昌孝 会員

卓話を始める前に一言申し上げたいと思います。橘は医者だから「母子の健康月間」の病気の話は任せておけば良いとお考えになるのは、私だけが勉強して知識が増えるだけです。前年度各月間の担当委員会を決め、各テーマについて話し合っ発表して頂きました。

その目的は普段関係ないことを担当して学ぶことにより、ロータリーについてより深い知識が身に付き、成田ロータリークラブで活動しやすくなるからです。

皆様ご存知のように、成田ロータリークラブは第2790地区で、ロータリー財団への寄付額は毎年度上位です。大変素晴らしいことですが、その寄付はどのように使われているのでしょうか？

ロータリー財団委員会は、寄付集めには熱心ですが、その使われ方について委員会で話し合い、その結果を入会年数の新しい会員に発表して頂きたいものです。そうすれば、新会員の勉強になり我々も寄付したお金が役に立っていることを再確認できます。

さて「母子の健康」ですが、先ず「母子を救うためのロータリーの取り組み」について



ロータリープログラム担当職員のアズカ・アシフさんのお話をお伝えします。

「人はだれでも最高水準の身体的・精神的健康を享受する権利を有しています。しかし、性別による差別がこの権利を侵害している場合が多々あります。経済的な理由や、女性は外出できないという社会慣習が原因となり、多くの女性が疾病を患いやすくなっている上、適当な処置も受けられない状態に置かれています。」

母子の健康に関するプロジェクトを通じて、ロータリー会員は国連の「持続可能な開発目標3：あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」という目標について、その達成を目指した取り組みを行っています。と書かれていますが我々は取り組んでいるのでしょうか？

疾病や栄養失調、不十分な医療、不適切な公衆衛生が原因で命を落とす5歳未満の子供の数は、毎年700万人以上に達します。この数を削減すべく、ロータリー会員は乳児への予防接種や抗生物質投与を実施しながら、必要不可欠な医療ケアの利用状況を改善し、専門の医療提供者による母子への対応を支援しています。出産時死亡率のおよそ80%は、リプロダクティブ・ヘルスサービスと、専門医療従事者のケアを受けることで予防できます。ロータリーが実施するプロジェクトの目的は、教育、予防接種、出産用器具、移動診療所を提供し、このような理念を支援することにあります。

日本で生活している我々は、そして本年度入会された女性会員はこの事実を知って驚かれたことでしょう。

実際、我々成田ロータリークラブの会員は直接支援に携わってはいませんが、先ほどお話したように第2790地区でロータリー財団への寄付額は毎年度上位ですので、その尊いお金がロータリー財団を通して「母子の健康」のために役に立っているのです。

再度申し上げますが、ロータリー財団委員会は委員会全員でこのように役に立っていることを学び、私の代わりに新会員に発表していただけたら良かったと思います。

ユニセフの報告書によると、2012年の1年間に5歳未満で死亡した子どもは、推定で約660万人。いまなお、毎日18,000人、4.8秒にひとりの幼い命が失われている。

国連ミレニアム開発目標の基準となる1990年当時、世界では年間1,260万人の5歳未満の子どもが死亡していた。しかし、2012年現在、この22年間に渡って続けられた様々な取り組みにより、9,000万人の子どもたちの命が守られるようになり、子どもの生存が劇的に改善できることも明らかになった。

一方、予防可能な原因による子どもの死亡が、特定の地域や国の貧富の度合いに偏ることなく、世界の多くの国々で大幅に削減されていることが明らかになった。

バングラデシュ、エチオピア、マラウイ、リベリア、ネパール、タンザニア共和国などは子どもの死亡率が高い低所得国だが1990年と比べた場合、子どもの死亡率は3分の2以上削減されている。

一方で、子どもの死亡率が最も高く8人に約1人の子どもが5歳未満で死亡している西部中部アフリカでは、1990年以降年間の死亡数は殆ど減少していない。

南アジアは、1990年以降、5歳未満の子どもたちの死亡の削減を最も実現した地域である一方で、全世界の子どもたちの死亡の3人に1人は、この地域の子どものたちで占められている。

国の所得別でみると、上位中所得国で、1990-2012年の子どもたちの死亡率の削減

が最も進み、63%も削減された国もある。高所得国は最も低く、フィンランド、アイスランド、日本、ルクセンブルグ、ノルウェー、スウェーデン、シンガポールなどである。

日本の5歳未満児死亡率は、出生1,000人あたり3人、最も高いのはシエラレオネで出生1,000人あたり185人である。

5歳未満の子供たちの命を奪う主な原因と、死亡における割合は

1. 肺炎：17%年間110万人
2. 下痢：9%年間58万人
3. マラリア：7%年間45万人
4. 周産期の問題（早産や合併症、分娩時の問題）：25%年間165万人

これらの病気のうち、肺炎、下痢、マラリアは、家庭などでも予防できる。しかし今なお、毎日6,000人以上の子どもたちがこれら3つの病気が原因で命を落としている。これは途上国の子どもたちの多くが栄養不良に苦しんでいるためで、5歳未満児の死亡の半数に関係している。

子どもの生存において生後1カ月は極めて重要な時期だが、2012年には300万人に近い新生児が、生後1カ月以内に死亡している。

そうした乳児の死亡のうち、80万例には不十分な母乳育児が関係しているとみられている。生後6カ月を母乳のみで育てられた子どもは、母乳以外で育てられる子どもよりも、生存の確率が1.4倍以上高くなっていることが明らかになっている。

さて、ハイチは西半球で妊産婦と幼児の死亡率が最も高い国であり、女性の91%が自宅で出産する。そこでロータリー会員は、最大12名のボランティアが乗車できる完全装備の医療用ジープを、ハイチの各地域に一台ずつ提供した。これまで道が険しく、妊娠中の母親に医療サービスを提供できなかった場所でも、このジープを使用して移動診療所を開設することができるようになった。このことにより、妊産婦と幼児の死亡率が改善されると思われる。

日本では乳幼児の死亡率は世界で最も低いですが、子育てにおける子供の虐待、母親のうつ病などが問題になっている。

母親と乳幼児の精神医学的問題—家族の心の健康と育児との関連—についての九州大学精神科の吉田敬子先生の報告をお知らせする。

○出産後は女性のライフサイクルにおいて精神障害が最も発症しやすい時期ですが、その症状や診断についての理解はあいまいです。昔から「産後の肥立ちが悪い」といわれる母親がいます。また最近では、育児不安が強い母親についてもよく話題になっています。

このような母親の中には「産後うつ病」の診断がつく母親も含まれています。産後うつ病は、早期発見、母親に対する早期のケアが重要です。また、産後うつ病は乳幼児の情緒や認知の発達および家族の心の健康にとっても影響があり、その意味でも母親への適切なケアは重要です。しかしながら、わが国では産後うつ病に対して十分に精神医学的な認識がなされているとは限らずそのケアの方法やシステムも十分に検討され、ゆきとどいているとは言えないのが現状です。

・産後うつ病とは

うつ病は、人生のさまざまな時期におこる心の病です。症状としては、気分が落ち込んだり、毎日の生活の中での楽しみや興味がなくなってしまう。疲れやすく、夜眠れなかったり、集中力が落ちたり、自信がなくなるなどの症状が出現します。自分ばかりを責めるようになったり、死ぬことが頭をよぎるようになります。

産後うつ病は、通常出産後1週から1カ月頃に発症します。うつ病の症状が進むと、家事や育児に支障がおこります。また産後うつ病は、他の時期のうつ病の症状と基本的には同じですが、極端な場合は嬰兒殺しや母子心中につながるので、時期を逃さずに診断や治療的介入を行う必要があります。産後うつ病になりやすい要因としては、うつ病の既往歴があったり、その女性に対する夫や家族や周囲からのサポートが乏しかったり、人生上のつらい出来事が妊娠中や産後の早期におこることなどがあげられています。

・母子と家族への援助

産後うつ病の頻度は、10～15%と高いのです。ただし、大半は軽度であり、精神科専門の治療よりむしろ、助産婦や保健婦、および家族や母親自身の連携によるケアが大切です。私たちは産科スタッフと連携して、母子メンタルヘルスクリニックを開設しております。産後うつ病になりやすい要因のある女性に対して、妊娠中から出産後まで一貫してケアを行い、その後の乳児の発達や母子関係まで診ていきます。その際には、産後うつ病スクリーニングや母親の赤ちゃんに対する気持ちをたずねる質問票も用います。ここでは、産後うつ病のみでなく、育児不安の母親にも対応でき、また、母親の育児に対する気持ちや態度などもモニターできます。10代で妊娠、出産をする母親などの対応も行うなかで、虐待の世代間伝達への歯止めにもなりうるかと思えます。この活動は、次世代を担う子どもの育成にもかかわることであり、ひいては家族や社会の健全化にもつながると考えています。

以上が吉田先生の報告ですが、次に千葉県子ども病院の安藤咲穂先生の「児童虐待の影響」についてお知らせします。

○こどもの心と大人の社会—児童虐待の影響

児童虐待は子どもにどんな影響を残すのでしょうか。児童虐待は身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4つに分類され、これらは単独で生じることは稀で複数が混在している場合が多いのです。虐待による影響もまた、身体的、心理的、そして社会的影響と多岐にわたります。

身体的影響で目につくのは外傷（怪我）です。あざや傷などの皮膚損傷、骨折、筋肉の挫滅、内臓破裂などの深部損傷、頭部の場合は脳損傷になります。損傷が著しいと死に至ることもありますが、そうでなくても後遺症を残します。特に脳損傷では、体を動かす機能のほか知能や性格といった「その子らしさ」に関わる発達過程に大きな影響を残すのです。

外傷以外では、ネグレクトによる低身長、不衛生に基づく様々な病気、特に虫歯は頻度が高いものです。

これらはしかし、比較的見て分かりやすい分、手を打ちやすいのですが、より深刻なのは目に見えない心理的影響です。

子どもは、親の保護のもとで大切に扱われ安心して暮らすことで、基本的信頼感（世の

中への安心と信頼の感覚)と自尊心(自分を大切に思う心)を身につけます。しかし虐待を受けた子どもにはこれらが育ちません。基本的信頼感が低いと、いつも周囲をうかがってびくびくし不安やうつを引き起こします。他者との絆を深められず、離婚や非行、犯罪の危険も高まります。自尊心が低い場合は、健康管理が悪く生活習慣病が増えます。頑張りがきかないので学業成績はふるわず、離婚率も高いと言われます。わざわざ身を危険にさらす行動も増え、喧嘩、ドラッグ、危険な性行為、交通事故、自傷、自殺の原因になると言われます。

これらは、後々ボディーブローのように重く社会にのしかかります。しかし、残念ながら最前線の現場では死に直面したケースを救い上げるのに精一杯で、心理社会的影響への予防と対応は後手後手の感が否めません。十分な検討が望まれます。

以上、お二人のお話を聞いて皆さんはどの様に感じられましたか？

我々はそれぞれの企業を代表しています。各企業においてパワハラ、いじめはないのでしょうか？各職場で一人一人のスタッフが心から仕事に愛を込めて働いているのでしょうか？

スタッフ全員で意見を出して皆で目標を決定し、皆で行動することが大切で PDCA を行うことが良い結果を生むことはすでに皆さんはご存知で実行されていることです。

産後うつ病も早期の対応により軽くてすみます。安藤先生は、「子どもは、親の保護のもとで大切に扱われ安心して暮らすことで、基本的信頼感(世の中への安心と信頼の感覚)と自尊心(自分を大切に思う心)を身に付ける」と話されました。我々ロータリアンはこのような基本的信頼感が欠けている子どもたちが出現しないように色々注意し行動すべきだと思います。

まだ少しお時間があるようですので、職業奉仕として最近亡くなられましたけど、岡山県のノートルダム清心女子大学の学長をされていた渡辺和子先生のお話です。

先生は 29 歳の時、ナミュール・ノートルダム修道女会に入会し、信仰の道に入られます。そして、修道女としてアメリカのボストンに渡ります。

夏の暑いある日、食堂で約 130 人の夕食のためにお皿とナイフとフォークをテーブルにセットする仕事をしておりました。その時、先輩のシスターが「渡辺先生、あなたは今、何を考えていますか」とお尋ねになりました。先生が「何も考えていません」とお答えになります。その先輩のシスターは厳しい顔になり、「あなたは時間を無駄にしています」渡辺先生はその意味を理解しかねて怪訝な顔をする、その先輩はおっしゃいました。「お皿とナイフとフォークを並べるのであれば、やがてその席にお座りになる人のために何故心の中で『お幸せに』と祈りながら並べないのですか、何も考えないでただ漫然とお皿とフォークとナイフを並べるという事は、時間を無駄にしている」と諭されたそうです。渡辺先生は、私は今までいかに効率的に仕事をするかということをお教えされてきました。時間に愛を込め、仕事に愛を込めると良いことを初めて教わりました。お皿は同じ速さで同じ姿に並べられ、しかし目に見えない大切なものが込められるか、込められないかによって世の中が大きく変わります。それは 1 つには私がお幸せにと祈っておいたお皿で召し上がった方は、必ず幸せになるという信仰です。しかし、それよりも私にとって大切なことは、私が救われたということです。私にとってつまらない仕事はなくなりました。お皿を並べるというつまらない仕事が、雑用だと思っていた仕事が、実はそうではない。雑用は

私が仕事を雑にしたときに雑用になるということを教えられました。だから救われたのは私です。つまらないと思って皿を置くこと、お幸せにと祈って皿を置くこと、外から見た限りでは全く同じに見えます。掛かった時間も変わらないでしょう。しかし、仕事の量は同じでも時間の質が変わってきます。このことでその人自身が変わるべきです、とおっしゃっています。我々もいろんなことをやっていますが、対する人たち、皆さんが幸せになれるように一人一人がそういう気持ちを持っていただければいいと思います。

最後に自分の為になり自分が好きな標語を皆様にもご披露します。

- ・伸びる人は終始努力し行き詰る人は気づかぬ所で怠けている
- ・言い訳が上手になるほど向上への道が閉ざされていく
- ・知っているのと実行するのでは天と地ほどの開きがある
- ・誰も教えてくれないのではない自分に学ぶ気持ちが足りないのだ

成田ロータリークラブの新会員の皆様が所属する各委員会、並びに各顧問が一日も早くロータリーアンとしてどの様に行動すべきかを新会員と共に学んで頂きたいと考えています。

成田ロータリークラブ会員全員が成田クラブに入会して良かったと思えるように楽しく活動しましょう。

◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長

※堀口路加会員の住所が変更になります。(5月4日引越し)

〒285-0923

千葉県印旛郡酒々井町東酒々井二丁目2番293

※理事会報告訂正(4月7日発行分)

10. 成田環境ネットワークの件→成田国際交流協会の件

4/25 役員会 欠席→出席、新年度より出向者 小宮山会員に代わり松田会員

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
70	67	45	22	67.16%	76.47%

MAKE UP CARD

氏名	月日	クラブ名
矢野 理恵 会員	4月19日	成田コスモポリタンロータリークラブ
成田 温、長原 正夫、堀口 路加、角田 幸弘、小寺 真澄 遠藤 英一、深堀 伸之、小岩井 学 各会員	4月21日	次年度委員長会議
成田 温、長原 正夫、堀口 路加、角田 幸弘 高橋 晋、小宮山 四郎、齊藤 三智夫、石川 憲弘 諸岡 市郎左衛門 各会員	4月22日	地区研修・協議会
小寺 真澄、長原 正夫、齊藤 三智夫 各会員	4月24日	第2790地区RLIパートIII
小宮山 四郎 会員	4月25日	なりた環境ネットワーク役員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078